

おいしい毎日は、信頼できる商品から。みやぎ生協は、安全・安心な商品を通じて、食卓に笑顔をお届けします。

みやぎ生協の放射性物質への対応

『安心して、ご利用いただくため
情報収集と必要な検査を
実施しています。』



みやぎ生協の取り扱い商品は、安心してご利用いただくため社会的な放射能監視体制とともに、産直品など生産者とも協力し、自主的な検査を行っております。



COOP
MIYAGI
みやぎ生協

みやぎ生協の放射性物質の対応に関する問い合わせ先
品質管理本部 022-290-1015

みやぎ生協の放射性物質問題への 基本的考え方

1、東京電力福島第一原発事故を受け、メンバーへ、科学的で適切な情報提供をすることで、安心してご利用いただける状況を作ります。

社会的な検査体制とともに、産直品やメンバーの関心の高い食品について自主的な検査も実施し、科学的に安全を確認していきます。日常の食事から摂取される放射性物質の現状調査を継続し、食卓の安全を確認していきます。検査数値は、その考え方含めて公表していきます。

2、みやぎ生協では、放射能の自前検査を開始しています。

みやぎ生協は、原発事故当初から、生産者と協力し、圃場や農場の放射線量を簡易的に調査し、除染等の対策を打ってきました。当初、検査は外部検査機関に依頼して実施していましたが、2013年5月から、生協の商品検査センターで「ゲルマニウム半導体検出器」を導入し自前での検査も開始しました。検査は、めぐみ野の野菜や米・牛乳、魚や



アクアクララの水、一般市場品の農水畜産物などを行っています。2013年度は、12月末日までに398件の検査を行いました。

3. 検査結果は、掲示板やHPで毎月公開しています。

検査結果は店舗の掲示板や共同購入の納品書、ホームページ等でお知らせしています。生協で実施している自主検査は、検査した1つの検体についての結果です。あくまでメンバーの皆様が、商品を利用する際の参考情報として提供させていただいております。



日本生協連や全国の生協で、年間48,000件を超える検査を実施しています。全国の生協と協力しながら、メンバーの皆様が安心して商品をご利用いただけるよう情報を提供してまいります。

みやぎ生協 放射能検査

検索

コープの産消連絡

詳しくはこちらから

**めくみ野米の農林水産省
新ガイドラインによる表示**

食品の放射能検査結果

みやぎ生協のブログ

**みんなの“わ”
組合員の活動をご紹介します**

**みやぎ生協の活動を動画で紹介!
コープムービー**



2013年1月20日

1月 食品 放射性物質検査の結果報告

今年度は、中心検査品(米)の中心検査品(米)検査、(COOH検査)は検査(アリアアア)は検査、(一般検査品)は検査、(一般検査品)の放射性物質検査結果を掲載いたします。検査結果は、全て検査結果報告書(納品書)に添付いたします。

品名	品名	検査結果	検体	検体 番号 114 115
1 牛乳	COOP牛乳			
2 牛乳	めぐみ野 高たんぱく牛乳		放射能・食品類	
3 牛乳	めぐみ野 電子上白糖牛乳		人間用糖子	
4 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳	1月20日	食品類	
5 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類	
6 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類	
7 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類	
8 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類	
9 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類	
10 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳	1月19日	食品類	
11 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類	
12 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類	
13 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類	
14 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類	
15 牛乳	めぐみ野 高たんぱく牛乳	12月20日	放射能・食品類	
16 牛乳	めぐみ野 電子上白糖牛乳		人間用糖子	
17 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類・食品類	
18 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳		食品類・食品類	
19 一般検査品	めぐみ野 電子上白糖牛乳	12月20日	食品類・食品類	
20 飲料水	アリアアア飲料水		食品類	

*検査結果は、放射能検査結果報告書(納品書)に添付いたします。検査結果は、全て検査結果報告書(納品書)に添付いたします。

*めぐみ野の放射能検査結果は毎時毎5Bq/kgで掲載しています。

品名	検体番号	放射能検査結果(Bq/kg)
飲料水	114	0.1
牛乳	115	0.1
食品類	116	0.1
食品類	117	0.1

(単位: Bq/kg)

実際の食卓の食事に含まれる放射能を調べています。 ⇒3年間で3件の放射性物質の検出がありました が、問題はありません。

みやぎ生協では、2011年度より、メンバーさんのご協力をいただき、実際の食事に含まれる放射能を調べています。

検査方法は、陰膳方式と呼ばれ、毎食家族人数より1人分余計に食事を作り、それを2日分(6食+おやつや飲料など含め)保存したものを、検査センターで測定しています。

2011年度から2013年度までに、159件調査し、1ベクレル以上の検出が3件ありました。一番多かった例でも、1.8ベクレルの検出でした。どのご家庭でも検出される放射性カリウムの平均値は、30ベクレルですので、その16分の1の量といえます。自然界に存在する放射性カリウムのほうが多い結果でした。

放射性セシウムが検出された家庭の食事と同じ食事を、仮に1年間食べ続けた場合の放射性セシウムの実効線量(内部ひばく量)を推計すると、年間合計約0.051ミリシーベルト未満となり、それでも、基準の2%程度となります。

2日分
(6食分と間食)を
測定



Q&A

Q1 「ベクレル」や「シーベルト」とは何ですか？

A1 放射能の量を測る単位が「ベクレル」です。

「放射線」とは、放射性物質から出てくる電磁波や微粒子のことです。その放射線を出す力のことを、「放射能」と呼び、放射能の量を測る単位として「ベクレル」を使います。

人体への影響を与える放射線の量の単位が「シーベルト」です。

放射線が人体へ影響を与える影響度を表す単位は、「シーベルト」といいます。放射能を測ることで、その放射性物質が、人体に与える影響度(シーベルト)を、計算することができます。

Q2 国の基準(年間1ミリシーベルト:mSv)とはどの程度の量ですか？

A2 自然界から受けている量と大差ありません。
日本平均で1.5mSv受けています。

自然界から受ける放射線の量は、世界平均で2.4mSv、日本平均で1.5mSvです。これに、食品から追加で受ける放射線の量を、1mSv以下にするというのが、基準値です。食品の国際規格を作成しているコーデックス委員会の指標も同じです。



Q3 生協の独自基準は設定しないのですか？

A3 国際的にも、妥当な基準が設定されています。

現在の国の基準設定は、国際的にみても妥当な内容ですから自主的な基準は設定しません。(2013年4月施行食品衛生法)

行政による検査がリスクに応じて計画的に実施され、その結果に基づく出荷制限などのコントロールがなされることが、消費者の食の安全確保にとって必要であると考えています。

食品群	基準値(ベクレル/kg)
飲料水	10
牛乳・乳製品	50
一般食品	100
乳幼児食品	50

Q4 食物などから体内に入った放射性物質は体内に残るのですか？

A4 汗・尿などと一緒に体外にでていきます。

体内に入った放射性物質は、一度体内に入っても、その量はだんだん減ってきます。これは、放射性物質自体が時間とともに減っていくことと、汗、尿、便などと一緒に体外にでていきます。体内に入ったセシウム137は、成人で約100日で半分に減少し、2年で1%未満になります。乳幼児は、10~25日で半減しますので、1年未満で1%未満になります。



Q5 食品は、何を調べているの？

A5 取扱いの多いものを、調べています。

みやぎ生協では全量検査ではなく、産地や生産者、取扱量などを考慮し、計画的なモニタリング検査を行っています。

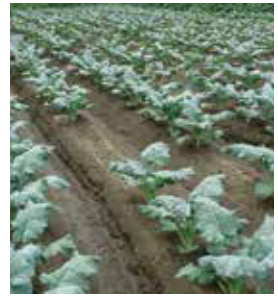
放射性物質検査は、検査にかける商品をミキサーで刻んだりしますので、全品調査はできません。生産者や産地が特定されている「めぐみ野」の米や野菜・果物などは、産地の収穫時期に合わせて生産者から商品を取り寄せて検査をしています。

めぐみ野の産地の検査は、完了しています。

2012年度までに「めぐみ野」の県内産地の放射能検査は、全て終了し問題ないことを確認しています。

一般の市場品につきましては、その時季の取扱量の多い野菜や果物、水産物などの検査を計画的に行っています。

また、自前の検査以外に取引先での検査結果や行政で行われています検査結果の情報を収集し、確認しています。



Q6 麦飯水は大丈夫なの？

A6 大丈夫です。安心してご利用下さい。

麦飯水は水道水を使用しています。水道水の放射性物質の検査は各行政で定期的に全ての浄水場でを行っています。検査結果は公表されており全く問題ないことが解っていますので、ご安心してご利用いただければと思います。

尚、麦飯水は水道水を活性炭と布フィルターを通し有機物を少なくした後、麦飯石から溶出したミネラルを吸収し最後に除菌マイクロフィルターで雑菌を除去したおいしい水となっています。

Q7 汚染水問題があるけど、魚は大丈夫なの？

A7 安全を確認したものが、流通しています。

現在、市場などに流通している魚につきましては、行政が検査で安全性を確認した上で流通させています。

市場でも入荷した魚の検査をしていますし、取引先の水産会社でも検査を行っています。みやぎ生協の商品担当は、それぞれの検査情報を確認した上でお店などに並べています。

取扱い商品の自前検査では、放射性物質は検出されていません。

Q8 新米の検査はちゃんとやったの？

A8 ちゃんと検査しています。放射性物質の検出はありません。

みやぎ生協では、2011年度の新米の取り扱い時期から、「めぐみ野米」の検査を実施してきました。「めぐみ野米」産地の角田、丸森、田尻、涌谷地域の検査をしました。

これまでに100件を超える検査を行いました。玄米・精米ともに全て「検出せず(検出限界値以下)」でした。米は主食であり宮城県の主力産品ですので今年度も定期的に検査を実施しています。

